

平成 28 年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

港湾振興課

1 施設の概要等

施設名	一般港湾施設(国際拠点港湾広島港, 重要港湾福山港, 重要港湾尾道糸崎港(機織地区))		
所在地	広島港, 福山港及び尾道糸崎港(機織地区)一円		
設置目的	港湾施設の適正な利用及び管理に資する		
施設・設備	岸壁, 荷捌地, 保管施設, 臨港交通施設, 荷役機械, 緑地等		
指定管理者	3期目	H26. 4. 1~H31. 3. 31	(株)ひろしま港湾管理センター
	2期目	H21. 4. 1~H26. 3. 31	(株)ひろしま港湾管理センター
	1期目	H18. 4. 1~H21. 3. 31	(株)ひろしま港湾管理センター

2 施設利用状況

利用状況	年度		施設利用料	対前年度増減	増減率
	28	27			
利用状況	3期	28	2,404,974千円	11,081千円	100.5%
		27	2,393,893千円	△35,414千円	98.5%
		26	2,429,307千円	△75,547千円	97.0%
	2期平均 21~25		2,504,854千円	△622,750千円	80.1%
	1期平均 18~20		3,127,604千円	2,683千円	100.1%
	17(導入前)		3,124,921千円	—	—
増減理由	広島港の駐車場使用料等の増加による。				

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	施設利用者からの聞き取り	随時
	広島港国際コンテナターミナルにおける月1回の幹事会を実施	県・広島市・コンテナターミナル利用者(4者)等
	【主な意見】	【その対応状況】
	老朽化した施設に対する要望	予算の範囲内で随時応急修繕等を行った。
コンテナターミナルのガントリークレーン故障時の早期復旧	県と指定管理者で調整し, 早期の復旧に向けた対応を行った。	

4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	収入個別調定依頼書, 徴収計算書
	日報(必要随時)	○	事故等について随時報告
管理運営会議(毎月)	【特記事項】 施設・設備の計画的な修繕が課題 【指定管理者の意見】 利用者の利便性確保のため, 今後も県と連携し適切に施設の修繕を行う。		
現地調査(毎月実施)	【県の対応】 指定管理者と協議により, 適切な施設の修繕が行われるよう連携して対応した。		

5 県委託料の状況

(単位：千円)

県委託料 (決算額)	年度		金額	対前年度増減	料金 収入 (決算額)	年度		金額	対前年度増減
	3期	28	797,274	△64,318		料金 収入 (決算額)	該当なし		
27		861,592	92,172						
26		769,420	18,501						
2期平均 21～25		750,919	△57,717						
1期平均 18～20		808,636	△2,710						
17 (導入前)		811,346	—						

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項 目		H28 決算額	H27 決算額	前年度差	主な増減理由等
収 入	県委託料	797,274	861,592	△64,318	施設維持修繕費等の減
	料金収入	0	0	0	
	その他収入	0	0	0	
	計(A)	797,274	861,592	△64,318	
支 出	人件費	131,802	141,507	△9,705	職員の減員に伴う減
	光熱水費	0	0	0	
	設備等保守点検費	128,498	118,041	10,457	点検対象の増加等に伴う費用の増
	清掃・警備費等	284,844	281,060	3,784	労務単価の上昇等に伴う植栽管理費等の委託費の増
	施設維持修繕費	226,006	295,043	△69,037	修繕箇所の減
	事務局費	26,124	25,941	183	租税公課の増 (外形標準課税の税率の上昇)
	その他	0	0	0	
	計(B)	797,274	861,592	△64,318	
収支①(A-B)		0	0	0	
自主 事業 (※1)	収入(C)	406,572	398,102	8,470	トランスファークレーン(※2)の消耗品・修繕費の利用者負担金の増
	支出(D)	355,710	348,984	6,726	トランスファークレーンの消耗品・修繕費の増
	収支②(C-D)	50,862	49,118	1,744	
合計収支①+②)		50,862	49,118	1,744	

※1 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

※2 トランスファークレーン：コンテナヤード内でコンテナを多段に積み重ねたり、シャーシへの積み込みを行う橋型クレーン

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の設置目的に沿った業務実績 ○業務の実施による, 県民サービスの向上 ○業務の実施による, 施設の利用促進 ○施設の維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の定期的な点検を行い, 老朽箇所について計画的に修繕を実施した。利用者要望に対しても迅速に対応し, 施設の安全性・利便性の確保に努めた。 ○中長期の効率的な施設の維持管理を目的として, ガントリークレーンなどの重要施設を対象に, 修繕や点検等の頻度を定めた維持管理計画を策定した。 ○年々増加する大型客船の円滑な寄港に資するため, 安全対策を着実に実施, 従業員も休日対応を行い, 乗船客等の安全性・利便性の確保に努めた。 ○ベイサイドビーチ坂において, 初めて開催されたビーチバレーボール・ビーチサッカー・ビーチテニスの3種の合同イベントについて, 適切な維持管理や従業員の参加を通じて支援するなど, 安全かつ円滑な利用促進に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の老朽化が進む中で, 定期的な点検等により安全面や利用者の支障を来すものを最優先に実施しており, 適切な維持管理に努めている。 ○重要施設であるガントリークレーンなどの維持管理計画策定に伴い, 今後計画的に修繕等を行うための準備が可能となった。 ○大型客船寄港時には, 多くの乗船客等が施設を利用するなかで, 事前準備段階から指定管理者として, 積極的に関与し, 乗船客の安全性・利便性の確保が図られた。 ○利用者視点に立ち, イベント実施が円滑に行えるよう, 施設清掃など安全管理が図られた。
管理の人的物的基礎	<ul style="list-style-type: none"> ○組織体制の見直し ○効率的な業務運営 ○収支の適正 	<ul style="list-style-type: none"> ○維持修繕工事と委託業務について, 長期継続契約を導入し, 業務の効率化を図った。 ○一般競争入札(事後審査型)の導入や, 入札不調時の契約先決定のフローの見直し等により, 効率的な入札事務の執行体制を確保した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○再委託に伴う発注事務の効率化や再委託先が業務を習熟することにより, 技術が向上し, より良質で, かつ, 安定的なサービスの提供が期待できる。 ○県の入札・契約制度などを参考に規程の整備などに取り組んでいる。 ○収支規模は, 修繕箇所の減により, 前年度に比べ減少している。
総括		<ul style="list-style-type: none"> ○適切に施設の維持補修を行い, 利用者の安全な施設利用を確保することができた。 ○重要施設を対象とした維持管理計画を策定し今後の計画的な維持管理に向けた体制づくりを進めることができた。 ○入札・契約制度整備を行い, 効率的な事務執行を行う体制づくりを進めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的な巡視点検, 保守点検を適切に実施することで, 多数の施設を計画的に維持管理している。また, 修繕についても計画的に実施している。 ○策定した重要施設の維持管理計画に基づき, 計画的に修繕を行うことが可能となった。 ○入札・契約制度の改善に取り組んでいる。

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (平成29年度)	<ul style="list-style-type: none"> ○維持管理計画の対象施設を拡大し, より一層の計画的かつ効率的な維持管理を進める。 ○入札・契約事務の適正化を図るため, ヒューマンエラー防止のためのチェック体制を整備・実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○指定管理者による効率的な維持管理の取組や入札・契約事務に対して, 支援・助言を行う。
中期的な対応	<ul style="list-style-type: none"> ○計画的な保守管理を行い, 施設の長寿命化を図る。 ○中長期的な修繕計画立案と計画的な予算執行を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き港湾施設の計画的な保守管理行われるよう必要な助言・指導を行う。